



2023年12月8日
株式会社イクシス

AR体積管理「GENBA-Scan」を開発

株式会社イクシス（本社：神奈川県川崎市、代表取締役 Co-CEO：山崎文敬、狩野高志）は、日本道路株式会社の協力のもと AR 体積管理「GENBA-Scan」（以下、「本サービス」という）を開発したことをお知らせします。

■ 本サービスで解決する課題

これまでの骨材（砂・碎石・砂利等）の棚卸（体積管理）は、複数人によるアナログ的な作業と記録が基本であり、生産性と記録の精細さで課題を抱えていました。イクシスが強みを持つインフラ向け XR 技術を応用することで生産性・精細さを向上させ、課題解決を目指したものです。

■ 本サービスの概要

イクシスは、高い XR 技術を有しており、これまでにコンクリート施工現場での締固め作業などへサービス提供を展開してきました。また、近年、インフラ現場において作業者が手軽に利用できるスマートデバイスの活用が推奨されてきています。

このたび、イクシスは、日本道路株式会社を検証パートナーとして迎え、ストックヤードにおける舗装材料の棚卸管理における生産性向上のため、GENBA-Scan の開発を行いました。

日本道路株式会社は、自社の合材センターでの全社展開を予定しています。

本サービスでは、iPhone の LiDAR センサーで対象物の画像・3D データを取得し、iPhone のアプリケーション画面上の簡単な操作で、すぐに体積量等を表示します。また、計測結果を帳票出力することもできます。

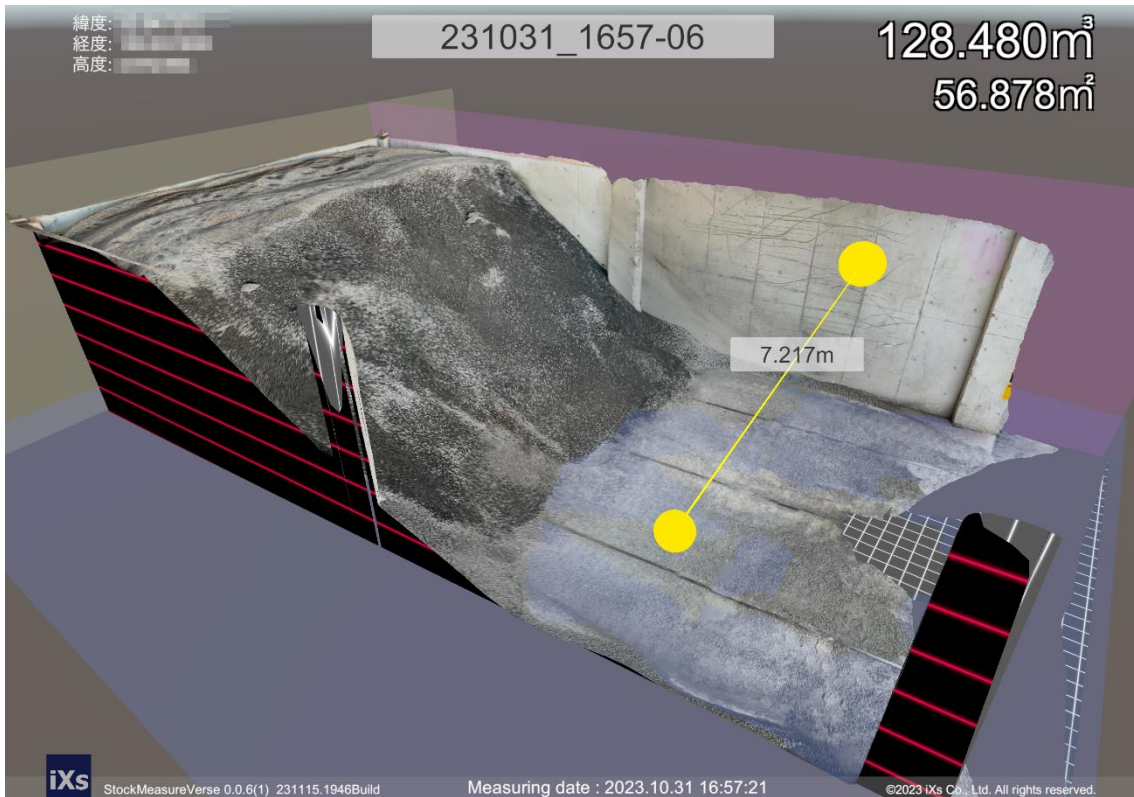
今後は、ストックヤードのみならず、土木材料、工業材料、農業資材等の幅広い領域にて本サービスの利活用が期待できます。

■ 本サービスの提供時期

2024年4月頃から広くサービス提供を予定しています。



■画面イメージ ※データ提供協力：日本道路株式会社



■ 本サービスの特徴

- ・生産性向上（作業工数の削減）
体積計算を容易にするための形状整理を行う必要がありません。
また計測・記録の作業を1名で行うことができます。
記録結果をシンプルな帳票として出力することができます。
- ・記録の精細さ
計測対象の3D形状をデジタル的に記録し、対象の体積を精細に計測・保存することができます。



■株式会社イクシスの概要

イクシスは「ロボット×テクノロジーで社会を守る」をミッションとし、ロボットを利用したデータ取得・AI解析・3次元データ連携等、インフラ関連業界におけるDXを支援、そして社会課題の解決への貢献を目指しています。

設立	1998年6月
所在地	神奈川県川崎市幸区新川崎7-7 AIRBIC内
代表者	Co-CEO兼CTO 山崎 文敬、 Co-CEO 狩野 高志
事業内容	社会・産業インフラ向けロボットソリューション AI・XR・3Dデータソリューション
HP URL	https://www.ixs.co.jp/

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社イク시스
神奈川県川崎市幸区新川崎7-7 かわさき新産業創造センター（AIRBIC）内
Business Development Division
電話：044-589-1500、メールアドレス：press@ixs.co.jp